

2025年
3月30日
日曜日

西鶴賀便り

(発) (行)
長野市中心市街地
活性化協議会
長野県建築士会
ながの支部
(協) (力)
西鶴賀町

西鶴賀 まちの すがた 座談会開催

西鶴賀のこれから「町のすがた」について話し合うキックオフ的座談会を開催しました。

参加者は町の人、地主さん、銀行、行政、建築士会ながの支部メンバー、エリアリノベ関係者など計44名。西鶴賀エリアリノベのふり返りや、県外の事例などが発表されたあと、それを踏まえて「西鶴賀町の今後のために自分(たち)は何が出来るのか」ということを話し合いました。



当日の様子
レポート



県外の事例
紹介動画



「西鶴賀へお店を出したい」というお問合せ自体も増えてきました。一方で、町には簡単には貸せなかったり、解体せざるをえなかったりする事情を抱えた空き家もまだまだたくさん。「誰のせい」とか「誰か(だけ)が動けばいい」とか「誰かが負担(我慢)すればいい」という話ではなく、「自分ですることは？」の視点でみんなで向き合っていくことが「エリアリノベション」としてこれからの「町のすがた」になっていくのでは……?というところがこの座談会のテーマでした。

話して終り……ではなく、

建築士会ながの支部
久米支部長 発表

エリア
リノベーション

その①

エリアの構想やコンセプトを
明確に設定する

- ⇒ 地域のお宝をみんなで共有する
- ※ みんなで守り育てる物を明確にする
「地域住民の誇りと自信を醸成する」
- ※ 町の歴史を語り・記録し・つなげる
「次世代への継承を図る」

その②

情報を みんなで 共有し、
外に発信する

- ⇒ まちの「こと」を自ら実証する
(地域の公園や木封木の管理
雪かき/ゴミの管理/イベントの開催
まちあるき)

その③

エリアの店舗を みんなでたっ
店同士も連携していく流れ

- ⇒ 運命共同体感覚
- ⇒ 互版で地域をつなぐ
(お店・歴史・人情)
- ⇒ 西鶴賀の外から応援隊を作る

今回の内容を踏まえた次回勉強会を7月頃に計画しています。(内容絶賛検討中…)引き続きよろしくお願い致します。

開店準備中



9軒長屋では現在、2つのお店が開店準備を進めています。旧「西鶴賀キッチン&スペース」の建物にはスペインバルの「Santa Cruz」(サンタクルス)、旧「古着屋」の建物には複合アーケードからの移転で「立ち呑みコンドウ」。

ともに5月頃のオープンを目指しています。工事や引っ越しの車で近所のみならずには何かとお世話しますが、何卒よろしくお願致します。そしてぜひ、オープンをおたのしみに……

(須)お世話になりました。短い期間だったけど、学生の僕らを歓迎してくれてうれしかったです。(六)…歓迎?(須)歓迎って、うん、受け入れてくれた、ていうか、居させてくれたよね。(六)(若連会)の定例会も呼んでくれたし。(須)一番の思い出って言うたら、やはり秋祭りだけど、あとはガーデンパーティーとか?(六)あんなに町の人が集まってみんなで話す、てないから印象的だった。(須)ああいう会をやるとちょっとだけ知って話したことなかった人とも会えたりするからよかったよね。

9軒長屋
卒業生
3月
9軒長屋から
立ち上る学生4人に
西鶴賀町の
思い出を聞き
ました

(中)やっぱり繁ですよ。木遣り感動しました。学生時代にミュージカルをやって、それは商業的だったけど木遣りは地域に根ざして。おごそかていうか空気が澄む。自分は声量だけ。深みがまったく違。て。くやしかったすね。公民館の机囲んで座る感じも学生が普通に過ごしてたら絶対出会えない光景でした。(中)花火はつむじにぶち当た。て痛かった。笑(小)お祭りの後、道端でお茶屋さんとかもふつうにしゃべったりできるようになった(中)日光飯店も若連で連れてっていただいたよね。